

山際氏 教団総裁と対面

旧統一教会 接点続々、野党が追及

山際大志郎経済再生担当相は三日の閣議後記者会見で、二〇一八年に世界平和統一家庭連合(旧統一教会)が主催した会合に出席した際、教団トップの韓鶴子総裁と対面したことを明らかにした。「二人には、かなりのことは話したかもしれない」とも述べた。他の催しにも「出席した可能性はあると思う」としたが事務所に資料が残っており「残念ながら今出てきているもの以上に記憶にはない」と話した。

2011年・ナイジェリアでの国際指導者会議傍聴
13年・関連団体への会費支出
16年・ネパールでの関連団体イベント出席
18年・国内のセミナー出席 ・東京都内の教団主催会合出席
19年・都内の関連団体会合出席

関係を確認することが多く「後出し」を世間にも強く印象づけた。物価高対策など重要課題を担っており、審議の紛糾が政策の停滞につながる恐れもある。

第二次岸田改進黨内閣の発足の八月十日の記者会見。山際氏は「三年に旧統一教会関連団体への会費支出、一八年に国内セミナーへの出席があったと説明した」と説明した。担当相の留任が決まったが、岸田文雄首相に「直接説明していない」とも述べた。

その後は一転して釈明に迫られた。八月二十五日の会見で一六年にネパール、一九年に東京都内の関連団体会合に出席したのではないかと問われ「報道を見る限り出席したと考えるのが自然だ」と答えた。九月二十四日には一八年の教団主催会合に参加した際の写真が教団ウェブサイト載っていると指摘を受け、認め

と聞いている」と説明した。

細田氏11日にも補充説明の意向

細田博之衆院議長は三日、自身と世界平和統一家庭連合(旧統一教会)側との接点に関する補充説明について「なるべく早く出す」と明言した。岸田文雄首相の所信表明演説が実施された衆院本会議散会後、国会内で記者団の質問に答えた。

衆院議院運営委員会の笠浩史・野党筆頭理事(立憲民主党)は立民会合で、細田氏が十一日にも補充説明を行うとの見通しを示した。同時に「どういふ文書が出てくるか分からないが、引き続き追及したい」と述べた。

細田氏は九月二十九日に、教団側との関係を認める文書一枚を衆院議員名義で発表した。教団の政治団体「国際勝共連合」の記念大会や、関連団体主催の国際会議などの会合に計四回出席し、教団側から選挙での支持を伝えられたと認めた。

このほか、教団に関連がある議連「日本・世界平和協議連合懇談会」の名誉会長に二〇二二年六月に就任し、現在は解散したと強調。教団創設者の文鮮明氏が提唱したとされる日韓トンネルの推進議連では一時、顧問を務め、現在は辞任しているとした。

ただ、野党は文書一枚の対応では不十分だと厳しく批判。細田氏は十日ほどかけて調査し、補充説明する意向を固めていた。

石井衆院議員が釈明「確認不十分だった」

関連団体の会合出席

自民党の石井拓衆院議員(比例東海)は三日、世界平和統一家庭連合(旧統一教会)の関連団体会合へ参加し、あいさつしたことを釈明した。安全保障や国際経済のセミナーで、勉強になると思い出席した。確認が不十分だったと国会内で記者団の質問に答えた。

愛知県時代から同種の会合に出ているとも説明。党の方針に従い「関係を断ち切る」と述べた。教団側に選挙支援を依頼したこと、教団側から応援を受けたことなどもないと強調した。

自民は九月三十日に公表した教団側との接点追加調査で、石井氏の氏名を明らかにしていた。

山際経済再生担当相が認められた「統一教会」の接点